

■なりたいまちの姿について

なりたいまちの姿①

決定

ここでの成長が
カタチになるまち

まちづくりの方向性①

子どもと共に成長し、
幸せを感じることができる

候補

- 子どもにみんなにやさしいまち
- ・子どもと一緒に笑顔になれるまち
- ◎未来への希望がカタチになるまち
- ・わたしが未来を描けるまち
- ◎ここでの育ちがカタチになるまち
- ・わたしのやさしさがカタチになるまち

2040年という未来のまちの中心的な役割を担い、第一線で活躍しているのは、いまの子どもたちです。人口減少が進む中、子どもたちがずっと住み続けたいと思えることは、将来にわたり選ばれるまちの重要な要素となります。

子どもの頃の素敵な思い出は大人になっても忘れないものです。町田市は、子どもたちに様々な経験やチャレンジの機会を提供していくとともに、自由で柔軟な発想を受け入れる環境を整えることで、まちへの誇りや愛着の醸成につなげていきます。そして、子どもたちが自分の成長を有形・無形問わず何らかのカタチとして実感し、自身の未来を獲得していったほしいと願っています。

一方で、周りの大人たちが生き生きと暮らしていてこそ子どもたちの健やかな成長があります。親や祖父母はもとより、普段子どもとあまり接点のないような大人たちまでもが互いに協力し合いながら社会全体で子育てしている、そういうことが当たり前に行えるまちならば、みんなの心に余裕が生まれ、大人だって成長していくことができるはずですよ。

子どもと共に成長していった先には、ここで暮らしてよかったと誰もが思えるような、それぞれにとっての幸せのカタチが生まれている、そんなまちに町田市はなっていきたいと考えています。

なりたいまちの姿②

決定

わたしの“ココチよさ”が
かなうまち

まちづくりの方向性②

ちょっといい環境の中で、
ちょうどいい暮らしができる

候補

- ちょっといいちょうどいい暮らしができるまち
- ・東京にあるちょうどいいカントリーシティ
- わたしのちょうどいいをデザインできるまち
- ・わたしの暮らしが見つかるまち
- ・わたしの暮らしに「プラスα」が見つかるまち
- ◎ココチよさが生まれるまち

東京の郊外に位置する町田市は、個性的なお店が軒を連ねる中心市街地で買い物や食事を楽しめる一方、市の北部などには豊かな自然があり、アウトドアライフを満喫することもできます。

また、大学や専門学校などが集積した学生のまちという側面や、サッカー、フットサル、ラグビーのホームタウンチームを有するスポーツのまちという側面、国際版画美術館をはじめ、史跡や郷土芸能などを大切にす文化・芸術のまちという側面もあります。

そして、小田急線とJR横浜線が交差する交通の結節点であること、新幹線駅に程近いこと、多摩都市モノレールが延伸することなど、移動利便性が高いという利点が、テレワークの普及などと相まって、市内に軸足を置きながら仕事ができる環境が整いつつあります。

このように町田市は、仕事、遊び、学びなどの拠点機能を備えており、ひとりでもみんなでも、何か行動を起こすのに最適なまちです。2040年においてもこの特性を土台に、思い思いの暮らしを描くことができる環境を提供していくとともに、昨日よりも今日、今日よりも明日と、生活の質の向上をちょっとずつでも実感できるよう、日々成長し続けていきます。

ちょっといいちょうどいい暮らしの先には、それぞれにとってのココチよさがかなえられている、そんなまちに町田市はなっていきたいと考えています。

なりたいまちの姿③

決定

誰もがホッとできるまち

まちづくりの方向性③

人と人がつながりながら、
多様な価値を尊重し合うことができる

候補

- まちが家族しているまち
- ・つながりが力になるまち
- ありのまま暮らせるまち
- ・誰もが自分らしくいられるまち
- ◎誰もがホッとできるまち
- ・あたたかさを感じられるまち

国際化の進展に伴う外国人労働者の増加や、新たなテクノロジーを背景とした働き方の自由度の向上などによって、2040年の町田市は、より一層多様な人が集まるまちになっていることが見込まれます。

様々な境遇や考え方の人が暮らす中であっては、必要とする人が必要な支え合いの輪に参加できてこそ、地域のつながりの力が発揮されると考えられます。そしてそれは、自ら進んで入っていきたくするような、あたたかい寛容に満ちたつながりでなければなりません。

お互いを尊重し、それぞれがそれぞれにできることを行う、このことを大事にすれば、誰もが自分の役割や活躍の機会を得られる共生社会を形成することができるのではないのでしょうか。

また、多様な背景を持つ人たちが、自分たちの暮らす地域のことを自分たちで考え決めていくことができれば、これまでなかったような地域ごとの特色が生まれ、居心地がいいと感じられる地域の選択肢が増えることにもつながっていきます。

人と人がつながり、多様な価値を尊重し合える関係性の先には、誰もがホッとできる居場所を地域の中に見つけられている、そんなまちに町田市はなっていきたいと考えています。